

～ご参加の皆さまへお願い～

- ・市内探訪では、集合から解散まで統一行動となっています。
- ・歩行中は一列又は二列で歩き、道路横断時などは交通安全に十分気を付けてください。
- ・急坂、石段などありますので、足元に注意してください。
- ・昆虫や植物などは採集しないで、カメラやスケッチに収めてください。
- ・地元の方々のご理解・ご協力をいただき、神社や寺院などに伺いますので、失礼のないように注意してください。
- ・弁当や菓子などのゴミは、各自お持ち帰りください。
- ・記録写真を撮る場合がありますので、ご了承ください。
- ・アンケートを取る場合がありますので、その時はご協力ください。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設見学等の際にはマスクの着用にご協力をお願いいたします。

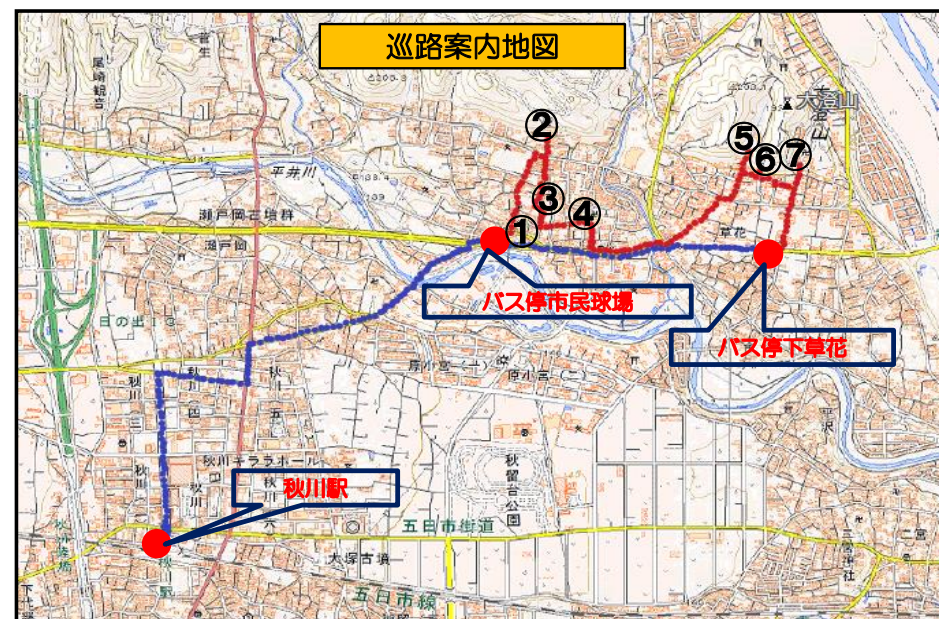


私たち市民解説員は、ふるさとあきる野を愛し、地域の自然・歴史・文化の再発見に努めるとともに、これらを市民の皆さまや市外から訪れる方々に紹介し、まちづくりと生涯学習の推進を図る学習ボランティアです。あきる野市は、自然や遺跡、文化財の宝庫です。美しく恵まれた環境のもとで、地域の皆さまと一緒に学びあい、活動できることを嬉しく思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

企画・実施 担当市民解説員
浅葉三男・板花七郎・野口久美子・小熊孝彦

市民解説員が案内する市内探訪

「草花の文化と歴史を訪ねて」 ～小宮神社から大行寺・慈勝寺へ～



探訪巡路 (☆印はトイレ)

JR秋川駅北口前集合 (8:50) ・☆⇒受付⇒
バス (秋川駅⇒あきる野市民球場・御堂会館) ⇒
①長泉寺跡⇒②陽向寺⇒③小宮神社⇒④大行寺・☆⇒
⑤花蔵院⇒⑥草花神社⇒⑦慈勝寺・☆⇒バス (下草花⇒秋川駅) ⇒
JR秋川駅北口前・アンケート回収・解散

令和5年11月8日
あきる野市 中央公民館

探訪場所の簡単な解説

参考資料：秋川市史・無漏西游他

- 「多西」の地名は（秋川市地名考より）
- *古代律令時代 武蔵国21郡のひとつ多摩郡
- *奈良時代 多上郡と多下郡
府中市大國神社裏の廃寺跡から
「多上」という文字瓦が出土
- *平安時代終期 多東郡と多西郡
八王子市中山の白山神社蔵の經卷の奥書
「武蔵国西郡」（1154年）
- *鎌倉時代 武蔵国多西郡
「吾妻鑑」（養和元年・1181年条）
- *小宮神社の梵鐘（寛正4年・1463年）
武州多西郡小宮郷大明神御宝前
- 多西村誕生
大正10年4月1日
草花、瀬戸岡、菅生、原小宮の四か村合併
- 秋多町誕生
昭和30年4月1日発足
東秋留、西秋留、多西の三か村が合併
- 「新編武蔵風土記稿より」
- *上草花村 民家 105軒
- *下草花村 家数 115軒

- ① 薬王山 長泉寺（臨済宗 建長寺派）跡
やくおうざん ちょうせんじ
所在地：あきる野市草花2966番地
創建：不詳（寛文年間頃か）
開基：関口次右衛門
開山：教翁念公和光大禪師か
本尊：木造釈迦如来坐像
沿革：明治38年、慈勝寺に合寺
薬師仏：境内薬師堂に弘法大師爪書きの作と云う、石造線刻の薬師像を安置

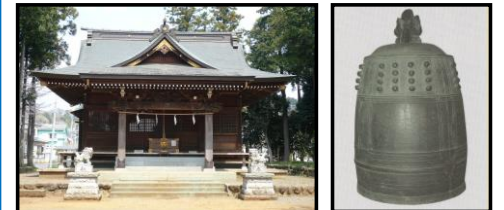


写真左は
薬師堂
「石造線刻薬師仏」
（秋川市地名考より）

- ② 華松山 陽向寺（臨済宗 建長寺派）
かしようざん ようこうじ
所在地：あきる野市草花2542番地
創建：応永年間（1394～1428）
開基：小宮18騎の一人高尾伊予守
開山：玉仲建琇（けんしゅう）禪師
本尊：木造釈迦牟尼如来で2童子侍立
沿革：一説によれば、初めは原小宮にあったのを現在地に移転したと云う
朱印地：寺領5石
境外：草花2768番地
小宮久保・久保坂に地藏堂を有す
本尊は、石彫の地藏菩薩で、
弘法大師、爪書きの作と云う。



- ③ 小宮神社
こみや じんじゃ
所在地：あきる野市草花2981番地
祭神：伊邪那岐大神（いざなぎのおおみかみ）
創建：不詳。
一説によると承元元年（1204）に
平山季重が社殿を建立したと伝える。
沿革：鎌倉時代の始め、小宮氏の氏神
室町時代、小宮上野介憲明の祈願所
寛正4年（1463）小宮上野介憲明、
梵鐘一口を奉納
その後、小宮氏に代わった大石氏、
さらに後北条氏が保護
朱印地：社領7石
梵鐘：国の重要美術工芸品
「大檀越上野介憲明と願主別當秀全」の銘



- ④ 鎮守山明王院 大行寺（真言宗 豊山派）
ちんじゅざんみょうおういん だいがようじ
所在地：あきる野市草花3036番地
創建：建永2年（1207）
開基：平山右衛門尉季重の祈願所
中興：寛正年間（1460～1466）
小宮上野介憲明の祈願所
開山：隆豊上人
本尊：木造不動明王坐像
沿革：大永年間（1521～1528）と
寛文年間（1661～1673）の
両度の火災により、古記録類を焼失
朱印地：寺領13石 別当分7石 計20石
坐像：空海と覚鑁の坐像、10体の真言列祖像
什物：経切りからなる掛軸2軸
「弘法大師真筆」と「光明皇后真跡」



- ⑤ 草花山 花蔵院（真言宗 豊山派）
そうかざん けぞういん
所在地：あきる野市草花1740番地
創建：弘長3年（1263）か4年（1264）
開基：頼栄上人（無漏西游より）
開山：権大僧都法印清満上人（中興の人か）
本尊：木造不動明王坐像で2童子侍立
沿革：天正年間（1573～92）
北条氏照祈願所
元禄年間（1688～1704）
火災に遭い伽藍焼失、古記録を失う
建物：山門 正徳3年（1713）建立
（平成9年の解体修理で判明）
二重垂木切妻造扉付（市指定文化財）
朱印地：寺領5石



- ⑥ 草花神社
くさばな じんじゃ
所在地：あきる野市草花1787番地
祭神：伊邪那岐命など6柱の神
創建：不詳。
沿革：明治2年まで十二天と称し、草花1476
番地の平地に鎮座していた。
焼失により同年9月に草花神社と改称、
更に、一村一社の達により折立・森山・
西ヶ谷戸・高瀬に鎮座の4社を合祀し、
現在地に祀った。
大正初期に各社分離となり、現在草花・
西ヶ谷戸の氏神として祀られている。
見所：本殿の板彫り
右側面 張良と馬上の黄石公の図
左側面 瀬川における崇父と許由の図



- ⑦ 福寿山 慈勝寺（臨済宗 建長寺派）
ふくじゅざん じしょうじ
所在地：あきる野市草花1811番地
創建：文治4年（1188）
畠山重忠が伯母圓壽院の為に創建
開基：圓壽院殿善通理體大禪定尼
中興：天文11年（1542）
建長寺末となり、宏英才和尚を迎え
再興（無漏西游より）
本尊：聖観世音菩薩
沿革：天正18年（1590）八王子城落城の際、
兵火に遭い伽藍を焼失、古記録を失う
建物：改築前の堂宇は貞享4年（1687）の
建立と推定。現本堂は平成10年落成。
朱印地：寺領13石
見所：東京都指定天然記念物 モッコク

